



食を通じての 多世代交流、 地域交流、場の提供

千里中央子ども食堂をはじめようの会



事業概要

千里公民館にて子ども食堂を開催。食を通じての多世代交流、地域交流、居場所づくりの機会を作ります。

助成予定 90,000 円

6月13日(火)、千里文化センター「コラボ」で、子ども食堂が開かれました。この子ども食堂は、転勤族の多い千里地区で、子育て世代から高齢者世代まで、食を通じて地域の居場所となれば、との思いで取り組まれています。

開始前に、お昼過ぎから「ゆるるカフェ」を実施。お茶を飲みながらゆっくり交流します。参加者は老若男女さまざまで、この日は、九州から引越してきたばかりという親子連れも参加。子どもとボランティアスタッフが遊んでいる間に、保育所など豊中の子育て環境について情報交換を行いました。

午後3時30分からは、いよいよ子ども食堂がスタート。本日のメニューはカレーライスです。参加者は徐々に増え、多くの親子連れで賑わいます。

調理は参加者全員で行いますが、ここは皆さんの本領発揮。手際よく料理が出来上がっていきます。今日は、60人分のカレーライスが出来上がりました。

調理が終わると、いよいよ食事です。子どもも大人もみんなワイワイガヤガヤ。おいしいご飯に会話も弾みます。普段は家族だけの食事も、みんなで食べるというもよりおいしく感じます。

たまにはみんなでご飯を食べようと始まったこの会。代表の向井奈緒子さん自身も転勤族。「知らない土地で知り合いも少なく、交流の場が欲しかった。ここがそんな方の居場所となれば」と話します。この日も、多くの親子連れが参加し、笑顔が溢れていました。

次回の子ども食堂は、8月3日に予定しています。